

による。

(注1) 例外的にゴナドトロピン非依存性の思春期早発症を来した症例の報告がある。

(注2) 国内ではガスクロマトグラフ質量分析-選択的イオンモニタリング法による尿ステロイドプロファイル(保険未収載)が可能であり、診断に有用である。(ただし本検査のみで先天性副腎低形成症と先天性リポイド過形成との鑑別は不可)

[診断基準]

確実例：I、II、III および IV を満たすもの

ほぼ確実例：I、II および IV を満たすもの

疑い例：I、IV および II の一部を満たすもの

B. SF-1/Ad4BP 異常症（常染色体性）

I. 臨床症状

1. 副腎不全症状：伴わない場合がある
哺乳力低下、体重増加不良、嘔吐、脱水、意識障害、ショックなど。
2. 46、XY 性分化異常症
さまざまな程度の性分化異常を呈する。

II. 検査所見

1. 副腎不全症状を有する場合：全ての副腎皮質ホルモンの低下
 - (1) 血中コルチゾールの低値
 - (2) 血中アルドステロンの低値
 - (3) 血中副腎性アンドロゲンの低値
 - (4) 尿中 17-OHCS/コルチゾール、17-KS の低値
 - (5) ACTH 負荷試験で全ての副腎皮質ホルモンの分泌低下
 - (6) 尿中ステロイドプロファイルにおいて、ステロイド代謝物の全般的低下、特に新生児期の胎生皮質ステロイド異常低値（注 1）
2. 副腎不全症状を有する場合：血中 ACTH の高値
3. 画像診断による副腎低形成の証明

III. 遺伝子診断

SF-1/Ad4BP (NR5A1) 遺伝子の異常

IV. 除外項目

- ・ DAX-1 異常症
- ・ ACTH 不応症（コルチゾール低値、アルドステロン正常）
- ・ 先天性リポイド過形成症

[診断基準]

確実例：I、II および III を満たすもの

ほぼ確実例：I、II を満たすもの

疑い例：I、II の一部を満たすもの

C. IMAGE 症候群 (原因不明)

I. 臨床症状

1. 子宮内発育遅延 (intrauterine growth retardation: IUGR)
2. 骨幹端異形成症 (metaphyseal dysplasia)
3. 先天性副腎低形成 (adrenal hypoplasia congenita)
副腎不全症状、皮膚色素沈着。
4. 外性器異常 (genital anomalies)
ミクロペニス、尿道下裂など。

II. 検査所見

1. 全ての副腎皮質ホルモンの低下：軽症例の報告がある
 - (1) 血中コルチゾールの低値
 - (2) 血中アルドステロンの低値
 - (3) 血中副腎性アンドロゲンの低値
 - (5) ACTH 負荷試験で全ての副腎皮質ホルモンの分泌低下
2. 血中 ACTH の高値
3. 画像診断による副腎低形成の証明
4. X線による長管骨の骨端部異形成
5. 高カルシウム尿症を認める場合がある
6. 骨年齢の遅延

III. 除外項目

- ・ DAX-1 異常症
- ・ SF-1/AD4BP 異常症
- ・ ACTH 不応症 (コルチゾール低値、アルドステロン正常)
- ・ 先天性リポイド過形成症

[診断基準]

確実例：I のすべて、II および III を満たすもの

ほぼ確実例：I の一部、II および III を満たすもの

疑い例：I、II の一部、および III を満たすもの

VI. 平成 19 年度研究報告会
(平成 19 年 12 月 14 日：東京)
プログラム

厚生労働省科学研究費補助金

(難治性疾患克服研究事業)

「副腎ホルモン産生異常に関する調査研究」班

平成19年度研究報告会

主任研究者 藤枝 憲二

日 時：平成18年12月14日（金）午前9時～午後4時50分

場 所：興和創薬株式会社 本社 11階 大ホール

発表者の方へ

1 演題につき、発表時間 10 分、討論時間 5 分です。

時間厳守での進行にご協力下さい。

当日の発表形式はすべてコンピュータによる digital presentation のみとさせていただきます。

35mm スライドでの発表はできませんので、ご注意下さい。

必ずご自分のコンピュータをご持参下さい。

尚、PC プロジェクターとの接続はミニD-sub 15 ピンのみですので、アダプターが必要な場合
(特に Mac の場合) には必ずご自分でご用意下さい。

演者の方は発表前に接続を済ませ、順番になればすぐに発表に移れるよう、あらかじめのご準備をお願いいたします。

厚生労働省科学研究費補助金

(難治性疾患克服研究事業)

「副腎ホルモン産生異常に関する調査研究」班

事務局連絡先 〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

旭川医科大学医学部小児科

向井 徳男

TEL : 0166-68-2481

FAX : 0166-68-2489

E-mail : mukai5p@asahikawa-med.ac.jp

プログラム

A. アルドステロン不応症・作用機構 (09:05 - 09:50)

座長：柴田 洋孝 (慶應義塾大学医学部)

1. アルドステロン作用の抑制因子としての NF- κ C の役割
○柴田洋孝¹、武田彩乃¹、横田健一¹、栗原 勲¹、小林佐紀子¹、三石木綿子¹、北川浩史²、加藤茂明²、猿田享男¹、伊藤 裕¹
1) 慶應義塾大学医学部内科、2) 東京大学分子細胞生物学研究所
2. アルドステロンの血管新生に果たす効果：Tube Formation Assay による検討
○居軒 功、貨泉美紀、稲葉 聡、宮森 勇
福井大学医学部第三内科
3. アルドステロンが及ぼす血管内皮細胞 HDL 依存性 NO 産生への影響
○村尾孝児、井町仁美、村岡都美江、郁 暁、石田俊彦
香川大学医学部内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科

B. 原発性アルドステロン症 (09:50 - 10:50)

座長：西川 哲男 (横浜労災病院)

4. 本班アンケートによる本邦の原発性アルドステロン症実態調査 -2006 年-
○齋藤 淳、松澤陽子、伊藤浩子、大村昌夫、西川哲男
横浜労災病院内分泌代謝内科
5. 実地医家を受診する高血圧患者を対象とした原発性アルドステロン症の調査
○田村尚久¹、曾根正勝¹、上嶋健治²、佐藤俊哉³、中尾一和^{1,2}
京都大学大学院医学研究科 1) 内分泌代謝内科、2) EBM 研究センター、
3) 社会健康医学系専攻医療統計学分野
6. 新たな原発性アルドステロン症頻度の検討 -特にスクリーニング法、確定診断法の比較-
○大村昌夫、齋藤 淳、松澤陽子、伊藤浩子、西川哲男
横浜労災病院内分泌代謝内科
7. 原発性アルドステロン症における糖代謝異常
○米田 隆、武田仁勇
金沢大学大学院臓器機能制御学 (第2内科)

C. 副腎腫瘍 (10:50 - 11:35)

座長：上芝 元 (東邦大学医学部)

8. 副腎皮質腫瘍 95 例における特異的治療標的発現の検索

○中村恵美^{1,2}、佐藤文俊³、森本 玲³、鈴木 貴⁴、笹野公伸¹、林 富²

1) 東北大学大学院医学系研究科 病理病態学講座病理診断学分野

2) 同 発生発達医学講座小児外科学分野

3) 同 内科病態学講座腎・高血圧・内分泌学分野

4) 東北大学医学部保健学科 臨床検査学講座病理検査学分野

9. 副腎偶発腫における副腎癌の検討

○上芝 元、一城貴政

東邦大学医学部内科学糖尿病・代謝・内分泌科

10. 本邦におけるホルモン産生性副腎癌の疫学調査

○鈴木 滋¹、向井徳男¹、上芝 元²、藤枝憲二¹

1) 旭川医科大学小児科、2) 東邦大学医学部内科学糖尿病・代謝・内分泌科

挨拶 (11:35 - 11:45)

厚生労働省健康局疾病対策課

事務連絡 (11:45 - 12:00)

昼 食 (12:00 - 13:00)

D. 副腎の発生・分化・再生 (13:00 - 14:00)

座長：諸橋 憲一郎 (九州大学大学院医学研究院)

11. 胎仔副腎エンハンサーの解析

モハマド ズバイル、嶋 雄一、○諸橋憲一郎
九州大学大学院医学研究院、基礎生物学研究所

12. Yeast two-hybrid system を用いた StAR および DAX-1 相互作用因子同定の試み

○向井徳男、鈴木 滋、中村英記、藤枝憲二
旭川医科大学小児科

13. SF-1/Ad4BP はヒト骨髄由来間葉系細胞をステロイドホルモン産生細胞へ分化誘導する

○田中智子¹、権藤重喜¹、岡部泰二郎¹、高柳涼一¹、名和田新²、柳瀬敏彦¹
1) 九州大学大学院医学研究院病態制御内科
2) 九州大学大学院医学研究院

14. ステロイドホルモン産生細胞分化における転写因子の役割

○矢澤隆志、宮本 薫
福井大学医学部

E. グルココルチコイド抵抗症・作用機構 (14:00 - 14:45)

座長：田中 廣壽 (東京大学医科学研究所)

15. GR による抗炎症作用メカニズムの解析

○北川浩史、山岡育子、加藤茂明
東京大学分子細胞生物学研究所核内情報研究分野

16. グルココルチコイド標的遺伝子の探索

○田中廣壽、吉川賢忠、清水宣明
東京大学医科学研究所先端医療研究センター免疫病態分野

17. レセプターレベルにおけるステロイド抵抗性発症機序の解明

—急性リンパ性白血病における 11 β -hydroxysteroid dehydrogenase type 1 の解析

○齋 秀二、中川祐一、李 仁善、佐竹栄一郎、佐野伸一朗、永田絵子、中西俊樹、大関武彦
浜松医科大学小児科

F. ステロイド合成機構・異常症 (14:45 - 16:00)

座長：柳瀬 敏彦 (九州大学大学院医学研究院)

18. 塩誘導性キナーゼ 2 (SIK2) の副腎皮質での発現

○竹森 洋¹、岡本光弘²

1) 医薬基盤研究所、2) 帝塚山大学

19. コレステロール硫酸のステロイドホルモン産生の影響

○菅原照夫

北海道大学医学研究科連携研究センター

20. LCMSMS 血中ステロイド測定による正期産・早期産新生児の副腎機能解析

○本間桂子、三輪雅之、池田一成、長谷川奉延

慶應義塾大学医学部 中央臨床検査部、小児科

21. 21-水酸化酵素欠損症の出生前診断、治療についてのアンケート調査

○田島敏広¹、向井徳男²、大関武彦³、藤枝憲二²

1) 北海道大学医学部小児科、2) 旭川医科大学小児科、3) 浜松医科大学小児科

22. ステロイド (糖質コルチコイド) 補充療法の現状と問題点

○柳瀬敏彦¹、高柳涼一¹、大関武彦²、佐藤文三³、碓井 亜⁴

1) 九州大学病態制御内科、2) 浜松医科大学小児科、3) 日生病院内科、4) 広島大学泌尿器科

G. その他 (16:00 - 16:45)

座長：宮森 勇 (福井大学医学部)

23. *CYP11B1* common variants と表現型の関連

○宗 友厚、伏見宜俊、黒田英嗣、山田亘子、廣田卓男、村松 学、塩谷真由美、川地慎一、佐々木昭彦、諏訪哲也、加納克徳、武田 純

岐阜大学大学院医学系研究科内分泌代謝病態学分野

24. 続発性副腎皮質機能低下症患者の副腎髄質機能

○笠山宗正¹、森田真也²、大月道夫²、浅沼伸行¹、佐藤文三¹

1) 日本生命済生会附属日生病院総合内科、2) 大阪大学大学院医学系研究科内分泌・代謝内科

25. 副腎酵素欠損症の診断基準の見直し

○田島敏広¹、藤枝憲二²

1) 北海道大学医学部小児科、2) 旭川医科大学小児科

閉会の挨拶 (16:45 - 16:50)

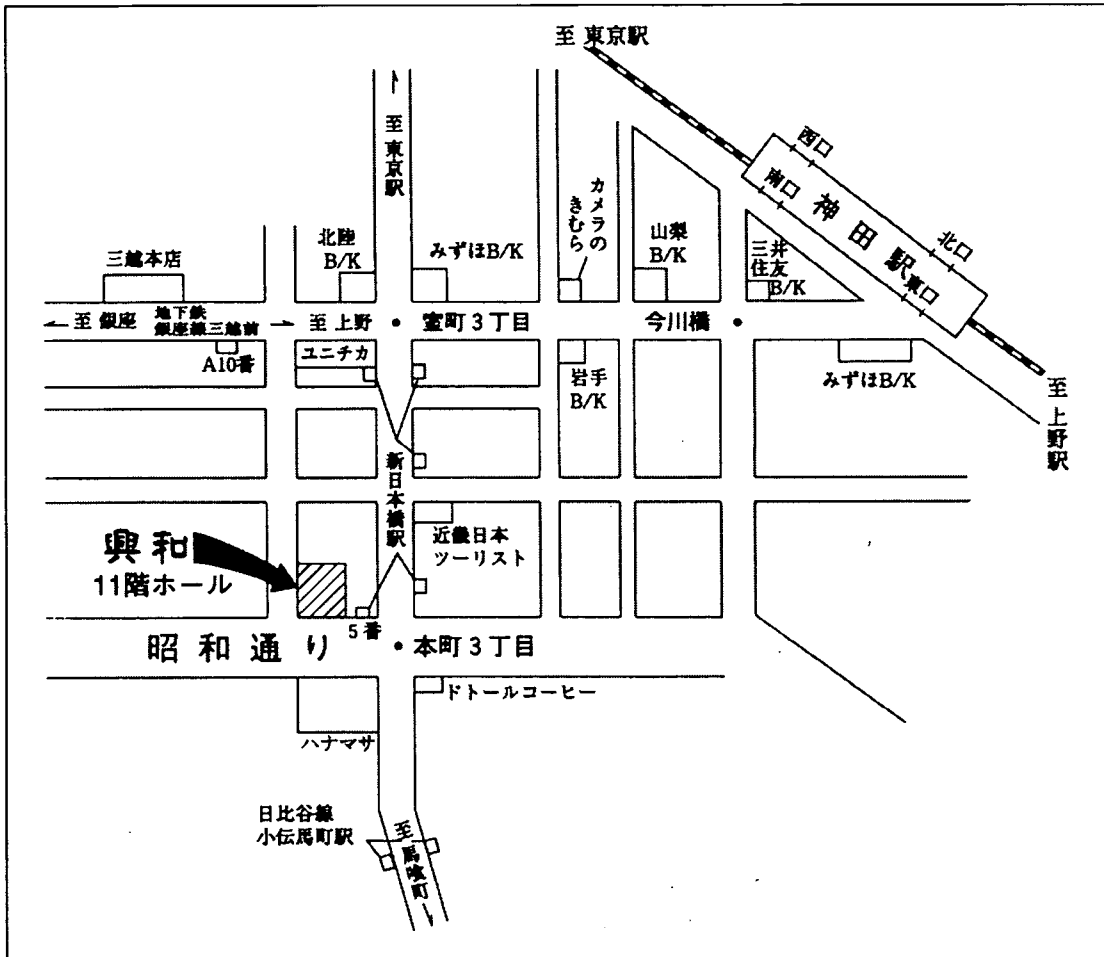
主任研究者：藤枝 憲二 (旭川医科大学小児科)

会場案内図

興和創薬株式会社 本社 11階 大ホール

東京都中央区日本橋本町3-4-1 4

TEL : 03-3279-7480



最寄りの駅

JR「神田」駅より徒歩約10分

JR「新日本橋」駅より徒歩約3分（出口5番）

地下鉄銀座線「三越前」駅より徒歩約3分（出口A10番）

地下鉄半蔵門線「三越前」駅より徒歩約10分

地下鉄日比谷線「小伝馬町」駅より徒歩約5分

*ご自由に聴講できます（無料）。事前の申込は不要です。

VII. 研究成果の刊行に関する一覧表

VII. 研究成果刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Okuhara K, Abe S, Kondo T, Fujita K, Koda N, Mochizuki H, Fujieda K, Tajima T	Four Japanese patients with adrenal hypoplasia congenita and hypogonadotropic hypogonadism caused by DAX-1 gene mutations: Mutant DAX-1 failed to repress steroidogenic acute regulatory protein (StAR) and luteinizing hormone β -subunit gene promoter activity.	Endocr. J.		in Press	
Suzuki S, Makita Y, Mukai T, Matsuo K, Ueda O, Fujieda K	Molecular basis of neonatal diabetes in Japanese patients.	J Clin Endocrinol Metab.	92 (10)	3979-3985	2007
Tajima T, Hattori T, Nakajima T, Okuhara K, Tsubaki J, Fujieda K	A Novel Missense Mutation (P366T) of the LHX4 Gene Causes Severe Combined Pituitary Hormone Deficiency with Pituitary Hypoplasia, Ectopic Posterior Lobe and a Poorly Developed Sella Turcica.	Endocr J.	54 (4)	637-641	2007
Makita Y, Narumi Y, Yoshida M, Niihori T, Kure S, Fujieda K, Matsubara Y, Aoki Y	Leukemia in Cardio-facio-cutaneous (CFC) syndrome: a patient with a germline mutation in BRAF proto-oncogene.	J Pediatr Hematol Oncol.	29 (5)	287-290	2007
Ogawa H, Suzutani T, Baba Y, Koyano S, Nozawa N, Ishibashi K, Fujieda K, Inoue N, Omori K	Etiology of severe sensorineural hearing loss in children: independent impact of congenital cytomegalovirus infection and GJB2 mutations.	J Infect Dis.	195 (6)	782-788	2007
Tajima T, Fujiwara F, Sudo A, Saito S, Fujieda K	A Japanese patient of congenital hypothyroidism with cerebellar atrophy.	Endocr J.		in Press	
Adachi M, Asakura Y, Sato Y, Tajima T, Nakajima T, Yamamoto T, Fujieda K	Novel SLC12A1 (NKCC2) Mutations in Two Families with Bartter Syndrome Type 1.	Endocr J.		in Press	
Takemori H, Okamoto M	Regulation of CREB-mediated gene expression by salt inducible kinase.	J Steroid Biochem Mol Biol.	108	287-291	2008
Takemori H, Kanematsu M, Kajimura J, Hatano O, Katoh Y, Lin XZ, Min L, Yamazaki T, Doi J, Okamoto M	Dephosphorylation of TORC initiates expression of the StAR gene.	Mol Cell Endocrinol	265	196-204	2007
Takemori H, Kajimura J, Okamoto M	TORC-SIK cascade regulates CREB activity through the basic leucine zipper domain.	FEBS-J	274	3202-3029	2007

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Kurokawa H, Saito D, Katoh-Fukui Y, Ohta K, Baba T, Morohashi K, and Tanaka M	Germ cells are essential for sexual dimorphism in the medaka gonad.	Pro. Natl. Acad. Sci. USA	104	16958-16963	2007
Ishimaru Y, Komatsu T, Kasahara M, Katoh-Fukui Y, Toyama Y, Maekawa M, Toshimori K, Chandraratna A, Morohashi K and Yoshioka H	Mechanism of asymmetric ovarian development in birds.	Development		in Press	2008
Baba T, Shima Y, Mimura J, Oshima M, Fujii-Kuriyama Y, and Morohashi K	Involvement of aryl hydrocarbon receptor (AhR) in maintenance of seminal vesicle through sexually different target gene expression.	Sexual Development		in Press	2008
Wang D, Kobayashi T, Shou L, Ohmuro Y, Guan G, Ijiri S, Sakai F, Matsuda M, Shibata Y, Okubo K, Morohashi K and Nagahama Y	Foxl2 up-regulates aromatase gene transcription in a female-specific manner by binding to the promoter as well as interacting with Ad4BP/SF-1.	Mol. Endocrinol.	21	712-725	2007
Kitagawa H, Yamaoka I, Akimoto C, Kase I, Mezaki Y, Shimizu T and Kato S	A reduction state potentiates the glucocorticoid response through receptor protein stabilization.	Genes to Cells	12	1281-1287	2007
Takada I, Mihara M, Suzawa M, Ohtake F, Igarashi M, Takeyama K, Nakamura T, Mezaki Y, Takezawa S, Yogiashi Y, Kitagawa H, Yamada G, Takada S, Minami Y, Shibuya H, Matsumoto K and Kato S	A histone lysine methyltransferase activated by non-canonical Wnt signaling suppresses PPAR-g transactivation.	Nat. Cell Biol	9	1273-1285	2007
Igarashi M, Yogiashi Y, Mihara M, Takada I, Kitagawa H and Kato S	Vitamin K induces osteoblast differentiation through PXR-mediated transcriptional control of the Msx2 gene.	Mol. Cell. Biol.	27	7947-7954	2007
Kitagawa H, Ray WJ, Glantschnig H, Nantermet PV, Yu Y, Leu CT, Harada SI, Kato S and Freedman LP	A regulatory circuit mediating convergence between nurr1 transcriptional regulation and Wnt Signaling.	Mol. Cell. Biol.	27	7486-7496	2007
Nakamura T, Imai Y, Matsumoto T, Sato S, Takeuchi K, Igarashi K, Harada Y, Azuma Y, Krust A, Yamamoto Y, Nishina H, Takeda S, Takayanagi H, Metzger D, Kanno J, Takaoka K, Martin TJ, Chambon P and Kato S	Estrogen prevents bone loss via estrogen receptor a and induction of Fas ligand in osteoclasts.	Cell	130	811-823	2007

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Ohtake F, Baba A, Takada I, Okada M, Iwasaki K, Miki H, Takahashi S, Kouzmenko A, Nohara K, Chiba T, Fujii-Kuriyama Y and Kato S	Dioxin receptor is a ligand-dependent E3 ubiquitin ligase.	Nature	446	562-566	2007
Fukuda T, Yamagata K, Fujiyama S, Matsumoto T, Koshida I, Yoshimura K, Mihara M, Nakamura T, Akimoto C, Yamamoto Y, Katagiri T, Foulds C, Takezawa S, Kitagawa H, Takeyama K, O' Malley BW and Kato S	DEAD-box RNA helicase subunits of the Drosha complex are required for processing of rRNA and a subset of MicroRNAs.	Nat. Cell Biol.	9	604-611	2007
Takezawa S, Yokoyama A, Okada M, Fujiki R, Iriyama A, Yanagi Y, Ito H, Takada I, Kishimoto M, Miyajima A, Takeyama K, Umesono K, Kitagawa H and Kato S	A cell cycle-dependent co-repressor for photoreceptor cell-specific nuclear receptor function.	EMBO J.	26	764-774	2007
Miyamoto J, Matsumoto T, Shiina H, Inoue K, Takada I, Ito S, Itoh J, Minematsu T, Sato T, Yanase T, Nawata H, Osamura RY and Kato S	Pituitary function of androgen receptor constitutes a glucocorticoid production circuit.	Mol. Cell. Biol.	27	4807-4814	2007
Kim M-S, Fujiki R, Kitagawa H and Kato S	1 α ,25(OH) $_2$ D $_3$ -induced DNA methylation suppresses the human CYP27B1 gene.	Mol. Cell. Endocrinol.	265-266	168-173	2007
Kim M-S, Fujiki R, Murayama A, Kitagawa H, Yamamoto K, Yamamoto Y, Mihara M, Takeyama K and Kato S	1 α , 25(OH) $_2$ D $_3$ -induced transrepression by vitamin D receptor through E-box-type elements in the human parathyroid hormone gene promoter.	Mol. Endocrinol.	21	334-342	2007
Yamaoka K, Shindo M, Iwasaki K, Yamaoka I, Yamamoto Y, Kitagawa H and Kato S	Multiple co-activator complexes support ligand-induced transactivation function of VDR.	Arch. Biochem. Biophys.	460	166-171	2007
Memezawa A, Takada I, Takeyama K, Igarashi M, Ito S, Aiba S, Kato S and Kouzmenko AP	Id2 Gene targeted crosstalk between Wnt and retinoid signaling regulates proliferation in human keratinocytes.	Oncogene	26	5038-5045	2007
Kimura S, Matsumoto T, Matsuyama R, Shiina H, Sato T, Takeyama K and Kato S	Androgen receptor function in folliculogenesis and its clinical implication in premature ovarian failure.	Trends Endocrinol. Metab.	18	183-189	2007
Kato S, Fujiki R, Kim M-S and Kitagawa H	Ligand-induced transrepressive function of VDR requires a chromatin remodeling complex, WINAC.	J. Steroid Biochem. Mol. Biol.	103	372-380	2007

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Matsumoto T, Kawano H, Shiina H, Sato T and Kato S	Androgen receptor functions in male and female reproduction.	Reproductive Med. Biol.	6	38307	2007
Fuse H, Korenaga S, Sakari M, Hiyama T, Ito T, Kimura K and Kato S	Non-steroidal antiandrogens act as AF-1 agonists under conditions of high androgen-receptor expression.	Prostate.	67	630-637	2007
Sato S, Kojima M, Hanada R, Kimura A, Abe T, Matsumoto T, Iwasaki M, Inose H, Ida T, Mieda M, Takeuchi Y, Fukumoto S, Fujita T, Kato S, Kangawa K, Shinomiya K and Takeda S	Central control of bone remodelling by Neuromedin U: a mediator of the leptin-dependent regulation of bone formation.	Nat. Med.	13	1234-1240	2007
Aihara K, Azuma H, Akaike M, Ikeda Y, Sata M, Takamori N, Yagi S, Iwase T, Sumitomo Y, Kawano H, Yamada T, Fukuda T, Matsumoto T, Sekine K, Sato T, Nakamichi Y, Yamamoto Y, Yoshimura K, Watanabe T, Nakamura T, Oomizu A, Tsukada M, Hayashi H, Sudo T, Kato S and Matsumoto T	Strain-dependent embryonic lethality and exaggerated vascular remodeling in heparin cofactor II-deficient mice.	J. Clin. Invest.	117	1514-1526	2007
Yokota K, Shibata H, Kurihara I, Kobayashi S, Suda N, Murai-Takeda A, Saito I, Kitagawa H, Kato S, Saruta T and Itoh H	Coactivation of the N-terminal transactivation of mineralocorticoid receptor by Ubc9.	J. Biol. Chem.	282	1998-2010	2007
Mezaki Y, Yoshikawa K, Yamaguchi N, Miura M, Imai K, Kato S and Senoo H	Rat hepatic stellate cells acquire retinoid responsiveness after activation in vitro by post-transcriptional regulation of retinoic acid receptor alpha gene expression.	Arch. Biochem. Biophys.	465	370-379	2007
Fan W, Yanase T, Morinaga H, Gondo S, Okabe T, Nomura M, Komatsu T, Morohashi K, Hayes TB, Takayanagi R, Nawata H	Atrazine-induced aromatase expression is SF-1 dependent: implications for endocrine disruption in wildlife and reproductive cancers in humans.	Environ Health Perspect	115	720-7	2007
Miyamoto J, Matsumoto T, Shiina H, Inoue K, Takada I, Ito S, Itoh J, Minematsu T, Sato T, Yanase T, Nawata H, Osamura YR, Kato S	The pituitary function of androgen receptor constitutes a glucocorticoid production circuit.	Mol Cell Biol	27	4807-14	2007

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Fan W, Yanase T, Morinaga H, Gondo S, Okabe T, Nomura M, Hayes TB, Takayanagi R, Nawata H	Herbicide atrazine activates SF-1 by direct affinity and concomitant co-activators recruitments to induce aromatase expression via promoter II.	Biochem Biophys Res Commun	355	1012-8	2007
Saito Y, Yamada N, Shirai K, Sasaki J, Ebihara Y, Yanase T, Fox JC	Effect of rosuvastatin 5-20mg on triglycerides and other lipid parameters in Japanese patients with hypertriglyceridemia.	Atherosclerosis	194	505-11	2007
Fan W, Yanase T, Morinaga H, Okabe T, Nomura M, Daitoku H, Fukamizu A, Kato S, Takayanagi R, Nawata H	Insulin-like growth factor 1/insulin signaling activates androgen signaling through direct interactions of Foxo1 with androgen receptor.	J Biol Chem	282	7329-38	2007
Yamada Y, Sekihara H, Omura M, Yanase T, Takayanagi R, Mune T, Yasuda K, Ishizuka T, Ueshiba H, Miyachi Y, Iwasaki T, Nakajima A, Nawata H	Changes in serum sex hormone profiles after short-term low-dose administration of dehydroepiandrosterone (DHEA) to young and elderly persons.	Endocr J	54	153-62	2007
Goto Y, Nomura M, Tanaka K, Kondo A, Morinaga H, Okabe T, Yanase T, Nawata H, Takayanagi R, Li E	Genetic interactions between activin type IIB receptor and Smad2 genes in asymmetrical patterning of the thoracic organs and the development of pancreas islets.	Dev Dyn	236	2865-74	2007
Tanaka T, Gondo S, Okabe T, Ohe K, Shirohzu H, Morinaga H, Nomura M, Tani K, Takayanagi R, Nawata H, Yanase T	Steroidogenic factor 1/adrenal 4 binding protein transforms human bone marrow mesenchymal cells into steroidogenic cells.	J Mol Endocrinol	39	343-50	2007
Woods DC, Liu HK, Nishi Y, Yanase T, Johnson AL	Inhibition of proteasome activity sensitizes human granulosa tumor cells to TRAIL-induced cell death.	Cancer Lett	260	20-27	2008
Ito M, Muraki M, Takahashi Y, Imai M, Tsukui T, Yamakawa N, Nakagawa K, Ohgi S, Horikawa T, Iwasaki W, Iida A, Nishi Y, Yanase T, Nawata H, Miyado K, Kono T, Hosoi Y, Saito H.	Glutathione S-transferase theta 1 expressed in granulosa cells as a biomarker for oocyte quality in age-related infertility.	Fertil Steril		in Press	2008
Mottershead DG, Pulkko M, Muggalla P, Pastemach A, Tolone M, Myllymaa S, Korchynskiy O, Nishi Y, Yanase T, Lun S, Juengel J, Laitinen M, Rivos O	Characterization of human growth differentiation factor-9 signaling in ovarian granulosa cells.	Mol Cell Endocrinol		in Press	2008
Matoba T, Inoguchi T, Nasu S, Suzuki S, Yanase T, Nawata H, Takayanagi R	Optimal cut-points of waist circumference for the clinical diagnosis of metabolic syndrome in the Japanese population.	Diabetes Care		in Press	2008

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
柳瀬敏彦	脂質代謝異常と疾病「ステロイドホルモンと生活習慣病」	臨床検査	51	515-522	2007
柳瀬敏彦	特集 アンチエイジングに迫る 4. ホルモン補償からアンチエイジングは可能か？	Life Style Medicine 2007	1	125-132	2007
柳瀬敏彦	クッシング症候群 -私はこう治療している-	今日の治療指針 2007年版		551	2007
岡部泰二郎、柳瀬敏彦	アンドロゲン不応症	ゲノム医学	7	53-57	2007
柳瀬敏彦	褐色細胞腫	今日の診断基準		343-344	2007
市野功、柳瀬敏彦	原発性アルドステロン症	今日の診断基準		345-346	2007
柳瀬敏彦	副腎性器症候群	今日の診断基準		347-348	2007
柳瀬敏彦	アンドロゲン受容体、核内受容体レギュレーターとメタボリックシンドローム	最新医学	69	2353-2359	2007
Takuya Fukazawa, Yutaka Maeda, Mary L. Durbin, Toru Nakai, Junji Matsuoka, Hirotohi Tanaka, Yoshio Naomoto, and Noriaki Tanaka	Pulmonary adenocarcinoma-targeted gene therapy by a cancer- and tissue-specific promoter system.	Mol. Cancer Ther.	6 (1)	244-252	2007
Inamoto S, Iwata S, Inamoto T, Nomura S, Sasaki T, Urasaki Y, Hosono O, Kawasaki H, Tanaka H, Dang NH, Morimoto C.	Crk-associated substrate lymphocyte type regulates transforming growth factor-beta signaling by inhibiting Smad6 and Smad7.	Oncogene	26 (6)	893-904	2007
Sano M, Izumi Y, Helenius K, Asakura M, Rossi DJ, Xie M, Taffet G, Hu L, Pautler RG, Wilson CR, Boudina S, Abel ED, Taegtmeier H, Scaglia F, Graham BH, Kralli A, Shimizu N, Tanaka H, Makela TP, Schneider MD	Menage-a-Trois 1 Is Critical for the Transcriptional Function of PPARgamma Coactivator 1	Cell Metab	5 (2)	129-142	2007
Ohnuma K, Uchiyama M, Yamochi T, Nishibashi K, Hosono O, Takahashi N, Kina S, Tanaka H, Lin X, Dang NH, Morimoto C	Caveolin-1 triggers T-cell activation via CD26 in association with CARMA1	J Biol Chem	282 (13)	10117-10131	2007
Makino Y, Uenishi R, Okamoto K, Isoe T, Hosono O, Tanaka H, Kanopka A, Poellinger L, Haneda M, Morimoto C	Transcriptional up-regulation of inhibitory PAS domain protein gene expression by hypoxia-inducible factor 1 (HIF-1): a negative feedback regulatory circuit in HIF-1-mediated signaling in hypoxic cells.	J Biol Chem	282 (19)	14073-14078	2007

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Sano M, Tokudome S, Shimizu N, Yoshikawa N, Ogawa C, Shirakawa K, Endo J, Katayama T, Yuasa S, Ieda M, Makino S, Hattori F, Tanaka H, Fukuda K	Intramolecular control of protein stability, subnuclear compartmentalization, and coactivator function of PGC-1alpha.	J Biol Chem	282 (35)	25970-25980	2007
Yokota K, Shibata H, Kurihara I, Kobayashi S, Suda N, Murai-Takeda A, Saito I, Kitagawa H, Kato S, Saruta T, Itoh H	Coactivation of the N-terminal transactivation of mineralocorticoid receptor by Ubc9.	J Biol Chem	282	1998-2010	2007
Ye P, Mariniello B, Mantero F, Shibata H, Rainey WE	G protein-coupled receptors (GPCR) in aldosterone-producing adenomas (APA): a potential cause of hyperaldosteronism.	J.Endocrinol.	195	39-48	2007
Saito I, Mori M, Shibata H, Hirose H, Tsujioka M, Kawabe H	Prevalence of metabolic syndrome in young men in Japan.	J Atheroscler Thromb	14	27-30	2007
柴田洋孝、伊藤 裕	メタボリックシンドロームとアルドステロン	医学のあゆみ	221	747-751	2007
柴田洋孝	ミネラルコルチコイド受容体によるアルドステロン作用調節—コアクチベーター、コリプレッサーの重要性	医学のあゆみ	221	703-708	2007
柴田洋孝、太田敦美、村田満、伊藤 裕、河邊博史、齊藤郁夫	高血圧症およびメタボリックシンドロームにおけるアルドステロンの役割	慶應保健研究	25	31-35	2007
柴田洋孝	薬剤誘発性高血圧	血圧	14	53-57	2007
武田彩乃、柴田洋孝、須田徳子、横田健一、林 晃一、中川 健、村井 勝、本間桂子、笹野公伸、伊藤 裕	腹腔鏡下片側副腎摘出術により改善を認めたACTH非依存性大結節性副腎皮質過形成(AIMAH)によるクッシング症候群の一例	日本内分泌学会雑誌	83 (Suppl)	55-57	2007
須田徳子、武田彩乃、柴田洋孝、横田健一、篠村裕之、及川洋一、島田 朗、林 晃一、林 松彦、伊藤 裕	多腺性自己免疫症候群I型に亜急性甲状腺炎を合併した一例	日本内分泌学会雑誌	83 (Suppl)	184-186	2007
柴田洋孝、齊藤郁夫	薬剤誘発性高血圧	Heart View	11	62-65	2007
柴田洋孝	婦人科医に求められる高血圧のケア	臨床婦人科産科	61	929-933	2007
柴田洋孝、伊藤 裕	偽アルドステロン症の重症副作用への疾患別対応	日本内科学会雑誌	96	805-810	2007
柴田洋孝	画像検査からの診断へのアプローチ副腎	診断と治療	95	258-264	2007

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
須田徳子、柴田洋孝、横田健一、武田彩乃、小林佐紀子、小西孝之助、中川健、村井 勝、本間桂子、鈴木 貴、笹野公伸、猿田享男、伊藤 裕	術後にアルドステロン分泌過剰が顕在化したクッシング症候群の一例	ホルモンと臨床	2007 春季 増刊	137-143	2007
Morimoto R, Satoh F, Murakami O, Totsune K, Suzuki T, Sasano H, Ito S, Takahashi K	Expression of adrenomedullin2/intermedin in human brain, heart, and kidney.	Peptides	28	1095-103	2007
Suzuki T, Urano T, Miki Y, Moriya T, Akahira J, Ishida T, Horie K, Inoue S, Sasano H	Nuclear cyclin B1 in human breast carcinoma as a potent prognostic factor.	Cancer Sci	98	644-51	2007
Nagase S, Mikami Y, Moriya T, Niikura H, Yoshinaga K, Takano T, Ito K, Akahira J, Sasano H, Yaegashi N	Vaginal tumors with histologic and immunocytochemical feature of gastrointestinal stromal tumor: two cases and review of the literature.	Int J Gynecol Cancer		in press	2007
Saito T, Ikoma A, Saito T, Tamemoto H, Suminaga Y, Yamada S, Kawakami M, Suzuki T, Sasano H, Ishikawa SE	Possibly Simultaneous Primary Aldosteronism and Preclinical Cushing's Syndrome in a Patient with Double Adenomas of Right Adrenal Gland.	Endocr J	54	287-293	2007
Kamenicky P, Houdoin L, Ferlicot S, Salenave S, Brailly S, Droupy S, Meduri G, Sasano H, Suzuki T, Young J, Chanson P	Benign cortisol-secreting adrenocortical adenomas produce small amounts of androgens.	ClinEndocrinol (Oxf)	66	778-788	2007
Miki Y, Suzuki T, Tazawa C, Yamaguchi Y, Kitada K, Honma S, Moriya T, Hirakawa H, Evans DB, Hayashi S, Ohuchi N, Sasano H	Aromatase localization in human breast cancer tissues: possible interactions between intratumoralstromal and parenchymal cells.	Cancer Res	67	3945-3954	2007
Usami S, Moriya T, Amari M, Suzuki A, Ishida T, Sasano H, Ohuchi N	Reliability of prognostic factors in breast carcinoma determined by core needle biopsy.	Jpn J Clin Oncol	37	250-255	2007
Tokunaga H, Akahira J, Suzuki T, Moriya T, Sasano H, Ito K, Yaegashi N	Ovarian epithelial carcinoma with estrogen-producing stroma.	PatholInt	57	285-290	2007
Sasano H, Suzuki T, Moriya T	Recent advances in histopathology and immunohistochemistry of adrenocortical carcinoma.	Endocr Pathol	17 (4)	345-354	2006
Kahara T, Seto C, Uchiyama A, Usuda D, Akahori H, Tajika E, Miwa A, Usuda R, Suzuki T, Sasano H	Preclinical Cushing's Syndrome Resulting from Adrenal Black Adenoma Diagnosed with Diabetic Ketoacidosis.	Endocr J	54	543-551	2007